

世界初ゼロエミッション電気推進タンカー2隻 建造発注

旭タンカー株式会社（社長：中井 和則、本社：東京都千代田区）は、世界初のゼロエミッション電気推進タンカー2隻を以下の通りに発注しました。

隻数	造船所	システムインテグレーター	竣工時期
1隻目	興亜産業株式会社（本社：香川県丸亀市）	川崎重工業株式会社	2022年3月
2隻目	井村造船株式会社（本社：徳島県小松島市）		2023年3月

本船仕様は、株式会社 e5 ラボ（社長：一田 朋聡、本社：東京都千代田区）が企画、デザインした「e5 タンカー」を採用します。

本船は大容量リチウムイオン電池を動力源とするピュアバッテリータンカーで、船用燃料供給船として東京湾内に就航する予定です。

船の基幹エネルギーシステムを完全電化することで、本船から排出される CO₂、NO_x、SO_x、煤煙等のゼロエミッション化を達成し環境負荷を低減するとともに、騒音や振動を抑えることで乗組員の労働環境と港湾周辺環境に配慮した船舶となります。

また、各種自動化設備や IoT を含む様々なデジタルツールを採用することによって、乗組員の船内労務の負担軽減と運航効率の向上を実現します。

加えて、本船は「緊急時給電用洋上大容量バッテリー」として、船内のバッテリーに貯めた電気を非常用電源として陸上で活用することで、大規模災害時における BCP（事業継続計画）対策や地域 LCP（生活継続計画）の貢献につながる新たな役割を担っていきます。旭タンカー株式会社と株式会社 e5 ラボは、現在、これら取り組みの実現に向けて、東京電力エナジーパートナー株式会社と共同で検討を進めております。

旭タンカー株式会社と株式会社 e5 ラボは、先進船舶の開発・導入を通して内航海運の喫緊の課題である乗組員の労働環境改善と地球環境保全に取り組み持続可能な海運業を実現します。そして、更なる安全、且つ良質な輸送サービスを提供することによって我が国の社会・経済に貢献していきます。

【本船仕様】

(1) 寸法	全長 62m / 全幅 10.3m / 喫水 4.15m
(2) 船級	ClassNK 日本海事協会
(3) 積載貨物	重油
(4) 総トン数	499 トン
(5) 速力	約 10 ノット
(6) タンク容量	1,280m ³
(7) 推進装置	アジマススラスタ 300kw x 2 基 サイドスラスタ 68kw x 2 基
(8) バッテリー容量	3,480kWh



【災害時給電用洋上大容量バッテリー】イメージ

災害時の電力供給システム搭載

陸上給電「S2S : Ship To Shore」

- ・ 自然災害等により、沿岸部の広範囲に給電が出来ない場合に活用
- ・ 本船に搭載された大容量蓄電池（一般的な電気自動車約100台分相当）から陸上に電力を供給
- ・ 陸上の道路や送電インフラが寸断されても、海上からの供給が可能
- ・ 災害発生時に拠点となる施設への電力供給が可能



© 2020 e5 Lab.Inc.

PROJECT

【本件に関する問い合わせ先】

旭タンカー株式会社
 経営企画部 EV 船プロジェクトチーム
 連絡先 at108-evshipproject@asahi-t.co.jp

株式会社 e5 ラボ
 連絡先 e-mail: project@e5ship.com